

## 厦門留学体験記

平成18年10月16日～11月4日の期間、「現代GP事業」の一環として中国・厦門（アモイ）理工学院に本校の専攻科学生6名並びに本校教員3名を派遣し、交流事業を行いました。ここではその様子を一部だけですが紹介します。



集美区にある厦門理工学院の新校舎です。とても印象的な美しい建物でした。



授業参観の様子です。ときには厦門理工学院の学生に混じって講義に参加しました。



厦門理工学院の先生に書道および山水画の鑑賞だけでなく、実演までしていただきました。流れるような筆づかいに感服です。



中国茶を体験して来ました。茶器が熱く難しかったですが、おいしいお茶を振る舞えました。また、春巻きや水餃を作って食べました。お店で食べた水餃の何倍も美味でした。中国文化の奥深さに感動しつつ、とても楽しいひとときを過ごしました。



廈門理工学院の新生歓迎会に参加しました。この後、ステージで 1000 人を超える学生を前に「世界に一つだけの花」を熱唱することになるのですが、まだまだ余裕の表情です。向かって左側の写真手前から阿比留くん、福田くん、金子くん、重松先生。向かって右側の写真手前から、中村さん、蒲池さん、宮崎さんです。



休みの日は日本語学科の学生と古都の泉州まで行って来ました。現地名産の大根の天ぷら(?)を買っているところです。後ろに泉州開元寺(686年建立)が見えます。



干杯(ガンベイ)！！